



赤旗 読者通信 改題

2023. 11. 12
通巻No.1625

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

禁無断転載
複写配布

決算審査(2)

国保税

子どもの均等割 全額免除を

635万円で可能

【上田市議】 決算書では、国民健康保険税で未就学児（小学校入学前）の子どもの均等割（医療分＋後期高齢者分の合計、一人2万9400円）の2分の1は免除されており、その金額は59万円となっている。これは2022年度から始まった制度であるが、人数は何人か。

【市民課長代理】 64人である。

【上田市議】 免除額以外で18歳年度末までの子どもの均等割はどれだけか。また1世帯ごとにかかる平等割（1世帯3万900円）はいくらになるか。

【市民課長代理】 2023年度の確定した国

民健康保険税について、免除された未就学児の均等割は68万円であり、18歳年度末までの子どもの均等割は、635万円である。また、平等割は、8216万円である。

国保税がなぜ高い

均等割と平等割があるから

【上田市議】 国民健康保険税が高額になるのは、所得割以外に均等割と平等割が課せられるからであり、均等割と平等割をなくすことが求められている。当面は18歳までの子どもの均等割を全額免除し、子育て世代の負担を減らすことが必要である。



65歳以上障害者の医療費 窓口負担無料制度を早急に

【上田市議】 社会福祉費の障害者福祉費で重度心身障害者等医療費助成は、6671万円となっている。65歳以上の障害者は、医療機関の窓口で自己負担額を一旦支払い、その後社会福祉課で還付請求する必要がある。請求をしなかった件数と金額はいくらか。

【社会福祉課長】 65歳以上の障害者で医療費の還付請求をしなかった人数と金額は把握していない。

【上田市議】 社会福祉課では障害者に請求漏れがあるか問い合わせしていないのか。

【社会福祉課長】 障害者に問い合わせはしていない。

窓口負担無料制度

「担当者で協議中」 社会福祉課長

【上田市議】 障害者が助成制度を知らなかったり、請求を忘れたりする場合があるのではないか。それをなくすために、現物給付制（窓口負担無料制度）を早く実施する必要がある。

【社会福祉課長】 現物給付制については、担当者で協議しているところである。

道路の舗装 すぐに修繕

上田由美子市議に訴えた

10月19日のことです。自転車で、能越道のカルバートボックス下（正得地区道明地内）を通った人が、舗装の穴に突っ込んだ衝撃で「自転車が壊れたかと思った」と悲鳴。

この訴えを聞いた上田由美子市議は早速、現地の写真を撮り、地図をつけて、市役所の都市建設課に修繕を依頼しました。市はその日のうちに修繕したのか、翌日午前10時過ぎには舗装が直っていました。

after



before